

「ことば」をつむぐ



SWU
昭和女子大学
日文

世界が変わる

昭和女子大学 人間文化学部 日本語日本文学科 2025

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY 2025
DEPARTMENT OF JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE

- 1920年 大正9年 ● 人見園吉(詩人・人見東明)ほか有志4名が私塾「日本女子高等学院」創立 文学科を設ける
- 1922年 大正11年 ● 私立学校「日本女子高等学院」に昇格 専攻部に文学科を置く
- 1927年 昭和2年 ● 財団法人日本女子高等学院を設立 専攻部を「日本女子高等学院本科」と改める
- 1946年 昭和21年 ● 財団法人東邦学園を設立し、これを母体とする「日本女子専門学校」を設置 日本女子高等学院本科の課程を日本女子専門学校に引き継ぐ
- 1949年 昭和24年 ● 新学制によって日本女子専門学校を「昭和女子大学」に改める 学芸学部国文学科を設ける
- 1951年 昭和26年 ● 財団法人東邦学園を「学校法人昭和女子大学」と改める
- 1953年 昭和28年 ● 学芸学部を文家政学部に変更 国文科を日本文学科と改める
- 1978年 昭和53年 ● 文家政学部を文学部と家政学部に分離
- 2003年 平成15年 ● 文学部を人間文化学部に変更 日本文学科を日本語日本文学科に変更
- 2020年 令和2年 ● 日本語日本文学科100周年を迎える
- 2025年 令和7年 ●

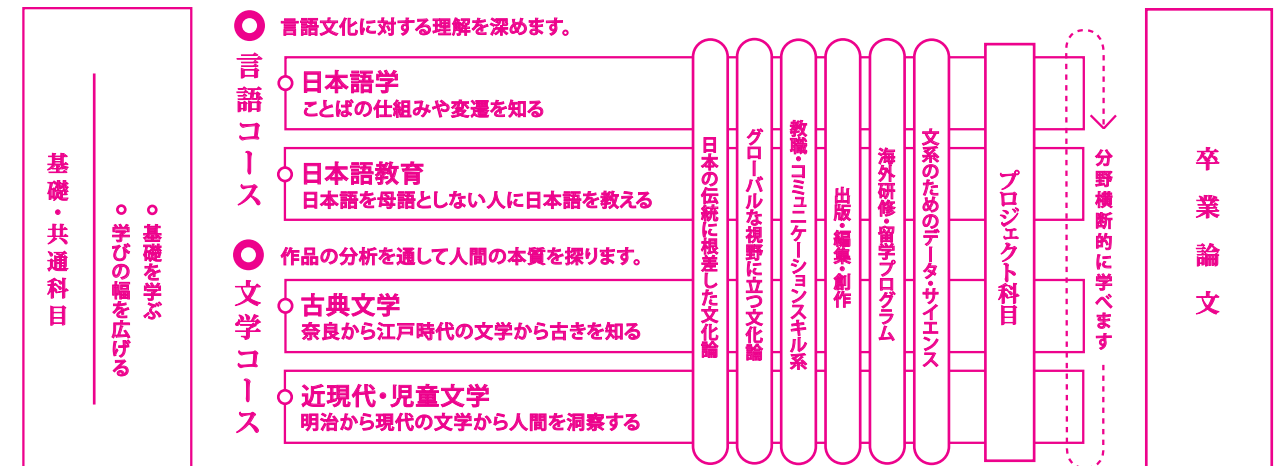


- P1 学びの概要(カリキュラムと資格)
- P2 教員の研究と授業紹介
- P4 日文の四年間
- P6 就職状況とキャリア支援
- P7 卒業生の声
- P8 日文のキャンパスライフ
- P9 学科長からのメッセージ

「ことば」の力を 将来に活かす

日本語日本文学科での学び

日本の言語文化を学ぶことは、日本文化を理解し、それを伝え発信していくための方法を身につけることです。日本の言語文化に対する深い知識とことばの力を培う過程で、ものごとの本質を見る確かな目と、社会の幅広い分野で活躍できるグローバル・リテラシーを養っていきます。



1年次は基礎科目を中心に学び、2年次からは学びの幅を広げながらコースを選びます。担当する専任教員が、コース選択から卒業論文制作にいたるまで、きめ細やかに指導します。コースの学びはプロジェクト科目で実践します。多角的に日本を捉える文化科目や留学プログラムも用意しています。

詳しいカリキュラムや履修モデルなどはこちら



取得できる資格

- 高等学校教諭一種(国語・書道) ○ 中学校教諭一種(国語) ○ 日本語教員(大学認定証)
- 図書館司書・司書教諭 ○ 博物館学芸員 ○ 文書情報管理士(2級)
- 昭和女子大学認定アーキビスト(2級) ○ 社会福祉主事(任用資格)

教員の研究と授業紹介 学科の研究分野と授業についてピックアップして紹介します。



日本語学 須永哲矢 教授 研究紹介

意識なくとも話している日本語の文法について、ブラックボックスを開けるような気持ちで研究しています。パソコンの使いかたを「覚える」とは別に、この機械中身を分解してみたい!という感じに近い興味を、ことばに対してぶつける感じです。

学生による 授業紹介 現代語文法

敬語や活用などのことばの現れ方を見つめ、古典文法からの変遷と共に、それらがなぜその形にあるのかを考えます。正誤ではなく、不思議と使ってしまうことばの「なぜ」に理論を立てるのは、物事を考える態度や力を養い、新たな視点を得る楽しさを感じさせます。



鈴木雅弓

言語コース



日本語教育 大場美和子 准教授 研究紹介

日常生活における実際の会話を収録・文字化し、普段はすぐに消えてしまう会話の特徴を客観的に分析しています。留学生の会話から外国人労働者の会話まで、現代社会の多様な異文化間コミュニケーションの特徴を明らかにし、その研究成果を日本語教育へどう生かすかを考察しています。

学生による 授業紹介 日本語教育Ⅰ (社会言語学)

この授業では日常会話のやり取りがどのように解釈されるか、異なる社会や文化と比較しながら考えていきます。例えば、「行けたら行く」という表現は、人間関係や状況等により解釈は変化すると思います。これは日本語教育での実践的な会話教育に役立つとともに、異文化理解にもつながります。



加藤多笑



近世文学 萩原大地 専任講師 研究紹介

江戸時代の文学、なかでも近世実録と呼ばれる分野を研究しています。現代人が江戸時代の人物や出来事を語る時、そこには必ずと言っていいほど、近世実録の物語の影響が見られます。近世実録の〈もっともらしい嘘〉がどのように創られ、広まり、共有されたのか。この謎を解き明かそうとしています。

学生による 授業紹介 日本文学史B

中世から近世にかけての文学作品を幅広く読んでいます。作者や時代背景の知識も含めて学ぶため、作品をより深く理解することに繋がります。実際に、様々な種類の和本に直接触れる機会もありました。当時の人々に想いを馳せながら、作品に触れる喜びを感じることができます。



桑原結衣

文学コース



児童文学 福田委千代 准教授 研究紹介

日本の児童文学のうち、時代で言うと明治から昭和前期にかけて、ジャンルで言うと女子を主な読者対象とした「少女小説」と、子どもに向けて書かれた「詩」を中心に研究しています。少女小説作家には女性も多く、女性の生き方という面でも関心があります。

学生による 授業紹介 日本文学史Ⅱ (児童A)

この授業では、明治時代から昭和時代に発表された児童文学を読みます。作品内の表現や作者のことば、時代背景などを通して、作品が書かれた当時の社会や作者が向き合った問題に触れます。児童文学をどのように読むかを考え、ことばにしてい授業です。



古谷成実

専任教員の分野と主な科目名

言語コース

- 日本語学
 - 須永哲矢 現代語文法、文法・実例研究
 - 嶺田明美 音声と音韻、日本語研究とコンピュータ
 - 宮寄由美 パソコン日本語学入門、ことばと社会
- 日本語教育
 - 池田玲子 日本語教育特殊講義
 - 植松容子 日本語文法論、日本語指導実践
 - 大場美和子 会話データ分析、社会言語学
 - 近藤彩 日本語教育入門

文学コース

- 上代文学 烏谷知子 古典と昔語り、古事記
- 中古文学 鶴飼祐江 源氏物語、枕草子
- 中世文学 山本晶子 日本の演劇、宇治拾遺物語
- 近世文学 萩原大地 世界の中の日本文学(古典)、日本文学史(古典)
- 近現代文学
 - 吉田昌志 文学と美術、日本文学入門
 - 笛木美佳 子どもの風景、遠藤周作
 - 山田夏樹 世界の中の日本文学(近現代)、日本文学史(近代)
- 児童文学 福田委千代 児童文学の近代、子どもとよむ詩

図書館学

- 池田美千絵 図書館概論、児童サービス論
- 田中均 生涯学習概論、情報資源組織論

客員教授

- 黛まどか 俳人
- 冷泉為人 冷泉家時雨亭文庫理事長

言語と文学の学びを土台としてコースを選択し、4年間を通して「ことば」の力と洞察力を鍛えます。

言語と文学の基礎を学ぶ

まずは必修科目を中心に、日本語・日本文学の基礎を学びます。言語と文学をバランスよく学ぶことで、新たな興味を見出すこともあります。2年間、探求の様々な手法を幅広く学び、時には迷いながら、じっくりと専門分野を決めます。



コースの選択は2年次後期

コースを選択する

2年次の終わりにコースを選択します。ゼミ説明会では、ゼミに所属する3・4年生の先輩から話を聞くことができます。その後、ゼミ希望調査が行われ、探求していく分野を選びます。

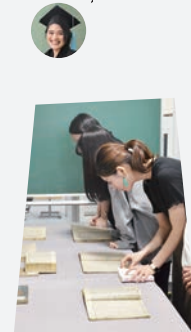
発表と質疑応答でプレゼン力が磨かれます



ゼミに所属 専門性を高める

ゼミに所属して、興味のある分野の学びを深化させていきます。各自の持つ興味・関心をもとに設定したテーマについて調査する・まとめる・発表することで、ものごとを論理的に検討するための基礎を身につけます。

4年間の学びの集大成



卒業論文を制作する

4年間の集大成である卒業論文の執筆に向け、研究を深めます。ゼミで鍛えた洞察力、表現力をもとにテーマを定め、問いを立て、多角的に検討しながら制作します。

1年次



図書館を利用する

学びを進める上で積極的に活用したいのが図書館です。図書約57万冊を所蔵しており、特に近代文学に関する図書・雑誌・新聞などを集めた「近代文庫」には貴重資料が充実しています。

学びの幅を広げる

興味がある分野の選択科目を履修して、学びの可能性を広げます。また、日文・歴史学クロスオーバープログラム科目を履修することで、文学・歴史・文化を総合的に捉えることが可能です。

海外留学の時期は2年次を選ぶ人が多いです



2年次



海外にはばたく

2週間から6カ月の留学プログラムが用意されています。昭和女子大学ポストン校をはじめ、本学認定大学だけでも、中国、韓国、ベトナム、欧州があります。いずれも休学せずに参加できます。語学力を高めるだけでなく、自文化と他文化を客観的に見つめ直すきっかけになります。詳しくは「日文留学ガイド」を。

3年次

文化を多角的に捉え直す

文化に関する科目も選択必修です。言語であれ文学であれ、それらは日本文化と密接に関連しています。テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)も隣接し、日文的TUJ交流企画運営委員会「S×Tars(スターズ)」や、単位交換プログラムなどがあり、学内においても活発な異文化交流が行われています。専門分野を文化科目の観点からとらえ直すことで、新たな気付きが得られます。



仲間と協力しあい成果を見える形に



学び⇄実践 プロジェクト科目

日文的学びが社会にどのように貢献できるかを考え、実践する科目です。日本語学をベースとしたプロジェクト科目では、これまで担当教員とともに学会発表も行われ、その成果を積極的に外部に発信してきました。今年度は三重県に伝わる芸能を紹介する「馬瀬狂言プロジェクト」が発足。11月に「日文公開講座」として無料で「馬瀬狂言」を鑑賞することができます。是非参加してみてください。(p.8参照)。



もう少し詳しく解説します！

コース選択まで

1・2年次は言語と文学の基礎を幅広く学びます。「入学時には文学に興味を持っていましたが、日本語学にも関心を持つようになった」など、学びを通して新たな興味に出会うこともあります。また、言語・文学の学びに加えて文化科目(グローバルな視野に立つ文化論(「サブカルチャー論」等)、日本の伝統に根差した文化論(「歌ことば歌ころ」等))を履修することで、視野を広げていきます。日文的学びと深く関連する歴史文化学科の授業を履修することができる日文・歴史学クロスオーバープログラムという学科横断型プログラムなど、多様な学びの機会があります。物事を多角的に検討し、より深く理解することが可

能になります。2年間、基礎を固めつつ視野を広げて自分の興味を見極め、2年次後期にコースを選択します。

学びの幅を広げる

国内にいながらにして、異文化と接するチャンスが多いのも特徴的です。短期・長期の留学はもちろん、世田谷キャンパスにおいても、学内外の留学生との交流が盛んに行われています。本学の敷地内にテンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)がありますので、日文的学生とTUJの学生が協働で交流活動を企画したり、互いにそれぞれの授業に参加したりして、共に学んでいます。

文系のデータサイエンス

日文的学びを通して、文系ならではのデータサイエンスの素養を身につけることができます。ことばに関するデータを収集・分析、そこから見える事実を多角的に検討し、何が言えるかを見極めます。これはまさに、データを活用して有益な情報へとつなげていく文系ならではのデータサイエンスです。このように、日文的学びを通して、これからの社会に必要な力を鍛えることができます。

キャリアを見据えた探求

3・4年次はゼミに所属して、仲間と切磋琢磨しながら専門を探究します。また、日文的

学びをもとにどのような社会貢献が可能かを考え実践する「プロジェクト科目」もあります。プロジェクトを通して課題解決に取り組みながら社会に様々な形で発信します。社会の隠れたニーズを探り出し、それを日文的学びで解決するという作業は、思った以上に困難で、初めはなかなかうまくいきません。しかし、その壁をどう乗り越えるか仲間とともに試行錯誤する、これこそが社会で生きていくためのかけがえのない力となっていくのです。日本語日文学科での4年間を通して得られた学びは、卒業後のキャリアを支える確実な礎となります。

① キャリアの幅を広げる 資格取得

教員免許は国語教員(中学、高校)とあわせて書道教員免許(高校)も取得できます。また、所定の単位を修得すると、大学認定の日本語教員認定証が取得できます。その他にも図書館司書や司書教諭、学芸員に加え、文書情報管理士(2級)が取得できます。2022年度からは新たに、公文書を扱うことのできるアーキビスト課程の履修が可能になりました。所定の単位を修得すると、昭和女子大学認定アーキビスト(2級)の資格が取得できます。公務員のキャリアとして有効な資格です。多様な資格取得の可能性が、キャリア選択の幅を広げます。

② 学生が企画・運営する プロジェクト科目

2024年度は中古、中世、近世の三分野のプロジェクトが進行中で、講義中心の印象がある古典分野においても、学生主体の活動が盛んです。中古の「古典文学プロジェクト」では、古典作品を絵本や動画等にし、小学生から日本語学習者まで、それぞれに相応しい形で紹介する教材作りを試みしています。「馬瀬狂言プロジェクト」、近世の作品を親しみやすく再構成する「お江戸で〇〇プロジェクト」とともに「今」と繋がる姿勢で古典文学、伝統芸能を探究します。

③ 知識と実践力の両輪を鍛える日本語教育

昭和女子大学の日本語教育カリキュラムの特徴は、「知識と実践力の両輪を鍛える」ことです。理論と実践を往還しながら学びを深めます。学びをもとに課題を解決する日本語教育プロジェクトでは、これまでに、留学生の学習・生活向上に役立つリソースを載せたホームページの作成や、中学校に在籍する帰国生の漢字学習サポートなどに取り組みました。学年を超えたチームで目標に向かって協働することを通して、他者に伝える力も鍛えられます。

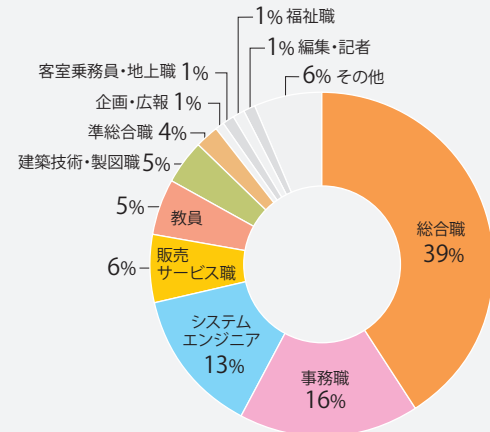


「ことば」の力が切り拓く未来



多様な職種で活かされる日文での学び

日文の卒業生は在学中に学んだことを活かして、さまざまな分野で活躍しています。国語や書道の教員、日本語教師などは専門性が直接進路に結びついています。一般企業の総合職やSEなどの分野においても日文で磨かれた「ことばの力」「コミュニケーション力」「洞察力」は求められています。自国の文化を理解する人材は国際社会でも必要とされています。卒業生にとって、日文での学びが実社会で生きる力となっています。



就職先の一例

総合職 ▶ NECキャピタルソリューション / エン・ジャパン / 全国健康保険協会 / 東京都中小企業振興公社 / 東電用地 / トランスコスモス / 日本経済広告社 / 扶桑電通 / 三菱オートリース
準総合職 ▶ 大成設備 営業職 ▶ 近畿日本ツーリスト / 東京海上日動あんしんコンサルティング 事務職 ▶ TDK / 日伝 / みずほフィナンシャルグループ / 三井住友トラスト・ビジネスサービス / 村田製作所 客室乗務員・地上職 ▶ 日本航空 販売・サービス職 ▶ パナソニックハウジングソリューションズ / 三越伊勢丹 教員 ▶ 東京都

主な進学先 (2022-2024年度)

お茶の水女子大学大学院-1名 / 宮城教育大学大学院-1名 / 早稲田大学大学院-1名 / 法政大学大学院-2名 / 昭和女子大学大学院-8名

日文ならではのキャリア・サポート

大学全体のキャリア支援に加え、学科の特性に沿ったサポート講座を実施

就職活動だけでなく将来にわたって役立つスキルを学べる**日文スキル系科目***をはじめ、**教員志望者向けサポート講座***や、**外部講師による講座***など、学生の学年・状況に応じた就職支援を行っています。

学生主催キャリア支援講座は、学生自らが実行委員をつとめ、夏の「内定者座談会」、春の「OG・外部講師による講座」を主催して7年目となりました。自分たちで企画・運営をすることで、コミュニケーション力や課題解決力が鍛えられます。

*1 日文スキル系科目

「スピーチトレーニング各論」「文章トレーニング各論」「IT機器の操作」など、実践的人気のある科目です。

*2 教員志望者向けサポート講座

国語教員や日本語教員をめざす学生には、教育現場にいる卒業生を招いて就職座談会を開き、在学中の勉強方法、実習や採用試験の対策の他、現場の具体的な体験を聞く機会を設けています。3年の学年末には、目前に迫った教育実習の対策講座も実施しています。

*3 外部講師を招く講座

2022年には3回シリーズで「自己PR」、「志望動機」、「ガクチカ」を書くための講座を実施しました。また、2023年度には、自分の思っていることをうまくまとめて話す力を身につける「5分間スピーチトレーニング」を実施しました。

2022年度から日文や国文卒の社会人を招き、学科主催メンターカフェを開催しています。メンターとの対話を通して「自分の考えを「ことば」として他者に伝える力」が鍛えられているという日本文生の強みに気づき、キャリア意識の伸長のみならず、専門の学びをとらえ直す機会ともなっています。

2年次と3年次に、企業の入社試験で使われるSPI能力試験の対策講座をおこなっています。2年次で基礎を学び、3年次ではより高得点を狙うコースも設けました。対策講座や模擬試験を受験することで、早い段階からSPIに慣れる環境を整えています。



卒業生の声 続きはごさぐさ

総勢9,504名 (開学以来の日文の卒業生数)

カラフルに活躍する十三名の卒業生の声

歌人
朝日新聞歌壇選者
歌誌「かりん」発行

馬場あき子

私がいま一番楽しくやっている仕事は選歌です。朝日新聞歌壇には毎週2500通くらいの投稿があり、短歌を通して「いま」を生きている人の心にじかにふれることができます。戦後というきびしい時代の中で日本文学を志した私には、古典和歌や近代以降の詩歌のことばの美しさ、やさしさ、簡素で奥深い表現への憧れがあり、短歌を作るようになりました。皆さんの知る日本語は美しいですか。生きて愛し、時に寂しく、時に哀しい心を伝えることばのふしぎを発見したいと思いませんか。(1948年卒)

千葉商科大学付属高等学校
国語科専任講師

高根菜海

作品が生まれた背景や当時の思想、現代にも通じる価値観など、多角的な視点から作品を探究することを授業の基盤とし、高校生が文学に触れる楽しさを体感できるよう、日々励んでいます。生徒に何を伝えたいかを明確にし、現在教壇に立つことができているのは、日文での学びのおかげだと思います。(2023年卒 / 専攻: 中世文学)

世田谷文学館
学芸員・学芸部部長

中垣理子

専門分野を生かし、文学館で学芸員として勤務しています。(1989年卒 / 1992年大学院(修士)修了 / 専攻: 近代文学)

株式会社近畿日本ツーリスト
団体旅行営業

加藤涼寧

働く上でコミュニケーション力はとても大切です。日文で鍛えた自分を表現する力や、他者にわかりやすく伝える力、ビジネス文書の授業で学んだことなどが活きていると思います。(2024年卒 / 専攻: 中世文学) 新卒

東京国税局

早川絵梨

在学中にことばの仕組みや表現方法を身につけることができました。法律の内容や解釈は難しいですが、わかりやすいことばに言い換える等して納税者の方に理解してもらえよう努めています。(2013年卒 / 専攻: 日本語学)

人々の生活を豊かにしたいという思いから建設業界を志望しました。日文で培った深く考える力や文章力は、仕事をする上で大変役に立っています。(2022年卒 / 専攻: 児童文学)

毎日新聞社
カスタマーリレーション本部本部長

木村葉子

1990年に記者職で入社して以来、最も長く携わったのは子ども向け媒体です。児童文学を専攻し、教員や司書の資格も取得したことが仕事に直結しました。大学での学びが生きたうえに、社内では「子どもや教育分野に造詣が深い」と認められました。誰にでも丁寧に礼儀正しく接することや、相手を思いやり誠実に真摯に向き合うことは、大学生活で知らぬ間に身につきました。私にとっては「普通」なことが「備わった宝物」だったと、社会に出てから気づきました。管理職となり社内外との折衝が多くなった今、昭和で授けていただいた「宝物」のありがたさを実感しています。(1990年卒 / 専攻: 児童文学)

TDK株式会社

藤原真希

現在の業務では、4年間で培った言語化する力が、仕事で生かされていると実感します。(2024年卒 / 専攻: 近現代文学) 新卒

光文社
VERY編集部

石川穂乃実

人や作品と真摯に向き合う力を生かして編集者として働いています。(2017年卒 / 専攻: 近代文学)

NTTデータビジネスシステムズ

阿南桃子

在学中に沢山の小説に触れた経験や、先生や友人と協力しながら論文を作り上げ、発表してきた経験が、語彙力や文章力、コミュニケーション能力などの向上に繋がりました。就職活動中は勿論、社会に出てからも議事録作成やプレゼンなど、様々なところで学生時代に培った基礎力が確実に活かしているのを日々実感しています。私はIT業界に進むことを選択しましたが、どのような職種を選んでも生きてくる学びであるということが、日文の大きな魅力の一つだと思います。(2024年卒 / 専攻: 近代文学) 新卒

長沼スクール東京日本語学校
専任講師

伊藤美和子

日本語教師として、さまざまな国から来た留学生に日本語を教えています。日本語学で培ったことばを分析する力など、日文での学びは今も大変役に立っています。(2009年卒 / 専攻: 日本語学)

早稲田大学大学院
日本語教育研究科へ進学

秦菜理衣

現在は、日本語教育における会話やコミュニケーションを研究し、国内外で活躍できる日本語教師になるために知識や経験を蓄えています。日文で、これからは学び続けたいと心から思える研究分野に出会うことができ、将来の夢へとつながる道が大きく広がりました。(2024年卒 / 専攻: 日本語教育) 新卒

株式会社進研アド
東京支社企画営業

丸山明莉

企画営業の仕事は、お客様の現状や市場ニーズを正しく認識し、分析し、考察したうえで課題解決できる企画をご提案することです。在学当時、近現代文学を学ぶ中で作者、登場人物、時代背景など様々な視点から作品の考察を沢山行いましたが、まさにこの情報収集→整理→考察までの一連の経験が企画営業の仕事をするうえで活きていることを実感しています。「文学を学ぶ過程で得た力」をもとに選べる将来の選択肢はとても広いので、ぜひ自信をもって自分の好きなことを学ぶための進路選びをしてほしいと思います。(2021年卒 / 専攻: 近現代文学)

日文のキャンパスライフ

文学も語学も分野の幅が広く、様々な授業が繋がりがら広がる面白さがあり追究する楽しさを味わえます。

普段は児童文学を中心とした日本文学を学んでいます。意見交換の機会が豊富で、学びの多い学科です。現在は、馬瀬狂言について学び、その魅力を発信するプロジェクト活動に参加しています。先生や学生をはじめとした様々な方との交流が盛んで、人との繋がりを感ぜられる日々です。



オープンキャンパス

学科説明、体験授業の他、受験生が聞きたい情報を短時間でコンパクトにお伝えします。在学生と気軽に話せるブースもあります。

開催日程

- 06/23(日)
- 07/21(日)
- 08/17(土)
- 08/18(日)

最新情報はウェブページでご確認ください。※日時・場所とも変更の可能性があります。



第12回 日文公開講座

伊勢の地で育まれた狂言
馬瀬狂言の世界

実演：馬瀬狂言保存会
解説：山本晶子(昭和女子大学教授)
日時：11/16(土)14:00～15:40
会場：昭和女子大学
グリーンホール



※オンライン配信もあります。
※公開講座にあわせて資料展を行います。
期間：11/16(土)～30(土)
会場：昭和女子大学図書館コミュニティルーム(8号館3階)
※お申し込み方法・最新情報はウェブページでご確認ください。

共通の趣味や志のある友人ができて、居心地よく過ごせています。そんな心地よい環境の中で、資格取得やプロジェクトへの参加など、チャレンジする場がたくさんあります。また、留学生との交流を通して視野が広がりました。

一冊の小説も、文学的視点だけでなく言語学的視点を持って読むことで多くの発見があります。時代を超えても色褪せない文学の世界の奥深さに思う存分浸ることができるからこそ、日文の魅力の一つです。

ことばで思考し、思考をことばにする。
そうやって遣されたことばを受け継ぎ、またことばで考える。

考える。
なんでもないことのようにでいて、もはや特別なこと。

これまでの歴史の中で、人々は、道具や乗り物を発達させ、力を使わなくても済む便利さを実現してきました。いま、その世界は、さらに今度は考えなくても済む、便利さに向かっています。ネットをちよっといじってれば、考えなくても自分に合わせた「おすすめ」が上がってくる時代。さまざまなものが、自分が考える代わりを果たしてくれるようになり、私たちは考えるめんどくささから解放されつつあります。日々を生きるために、昔ほど体力が必要なくなったように、昔ほど考えなくても、日常を回せてしまう。そんな時代に、考える。乗り物に乗ったほうが早くても、走る必要なんかなくても、ただ、自分の体を動かす気持ちよさを忘れない人がある。それと同じように、考えなくてもそこそこいけてしまう時代に、自分の頭を、心を、動かす気持ちよさを忘れない人にこそ、日本語日本文学へ来てほしい。

考えたらやってられなくなるから考えない、のではなく、時には立ち止まってしまうほど考える。「あなたにおすすめ」に従うのではなく、自分の「好き」を追求する。考えない方が幸せ、ではなく、幸せになるために考える。

そんな人を、待っています。

日本語日本文学 学科長

須永哲矢

日文での学びについて伝えたいことがもっとあります。
日文ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.swu.ac.jp/swuhp/university/nichibun>



昭和女子大学 人間文化学部 日本語日本文学科

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY DEPARTMENT OF JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE

入試に関するお問い合わせ アドミッションセンター Phone 03-3411-5154 E-mail spass@swu.ac.jp

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57

[DESIGN 鷺野宏デザイン事務所]